

水害

土砂災害

誰が、どのタイミングで逃げらる!?! 自らの命、家族の命を守るために

これから市町が発令する避難情報を「警戒レベル」でお知らせします

防災危機管理課 県民の皆さんを災害から守るための仕事をしています! 山本 祐也

適時・適切な避難を行うため、家族や地域で確認しましょう!

警戒レベル 4

全員避難

警戒レベル 3

高齢者・障がい者 乳幼児など避難

備える 普段から

梅雨入りまでに、自宅や学校、職場にはどのような危険があるか確認したり、市町や気象庁から提供される防災情報の意味について知っておきましょう。

①「警戒レベル」と「とるべき行動」を知ろう

住民がとるべき行動を5段階に分け、情報と行動の対応を明確化しました。

Table with 4 columns: 警戒レベル, 住民がとるべき行動, 避難情報, 情報発信源. Rows include levels 5, 4, 3, 2, 1 with corresponding actions and info.

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。 ※必ずしも段階的に、レベル1から発令されるとは限りません。

警戒レベル4 避難勧告の伝達文例. Includes text about emergency broadcasts and evacuation instructions.

② 防災マップで確認しよう

各家庭に配布されている「防災マップ」を活用し、自宅や職場など、身近な場所の災害リスクを確認しましょう。



③ 家庭の備えを見直そう!

非常持ち出し袋を準備して災害時の行動の確認を飲料水(1人につき1日3リットル)、食料、日用品などは最低7日分(うち3日分は非常持ち出し)の確保が必要です。



④ 自主防災組織の活動に参加しよう

被害を最小限に抑えるのは「自助・共助の力」といわれています。まず自分の身を守り、家族の安全を確保(自助)した後、初期消火や被災した人の救出、負傷した人の手当てなど、地域ぐるみでの救助活動を行う(共助)ことが大切です。



平成30年7月豪雨 梅雨前線の停滞や線状降水帯の発生により、長期にわたり雨が降り続けました。特に7/5~8の4日間だけで愛媛県下の7月の平均雨量を大幅に超える集中豪雨。県内各地で、同時多発的かつ広範囲にわたる大規模な土砂災害や浸水被害が発生しました。

役立てる いざ、そのとき

“もしも”のときに役立つのは最新情報。いざ、そのときに役立つよう、今のうちにチェックしておきましょう。

防災アプリを入れておこう!

愛媛県避難支援アプリ「ひめシェルター」. Includes app interface images and QR code for download.

6月は「土砂災害防止月間」

土砂災害(特別)警戒区域について. Includes map and QR code for HPI information.

早期避難に役立つ!

「愛媛県防災メール」「愛媛県防災SNS」. Includes QR codes for registration and SNS links.